近郊版

愛
松田　出
あざみの会所属

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

春日井支局　〒486-0844
春日井市鳥居松町３―60
0568-81-2036　Fax81-2797
犬山通信局
0568-61-2612　Fax61-2613
小牧通信局
0568-72-1177　Fax72-6530
瀬戸支局
0561-82-3121　Fax82-5316
一宮総局
0586-72-4545　Fax72-5035
江南通信部
0587-54-4001　Fax54-9622

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800　Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

パーマ技術全国上位を

春日井・井上さん　来月大会へ練習

春日井市堀ノ内町２のビーキュービック美容学校美容科２年の井上英南（あやな）さん(19)＝同市篠木町６＝が、徳島市で来月15日に開かれる「全国理容美容学生技術大会」の美容部門ワインディング種目に出場する。「練習の成果を発揮して上位入賞したい」と話す。（佐久間博康）

全国大会に向けて練習に励む井上さん＝春日井市堀ノ内町2のビーキュービック美容学校で

井上さんは中学生の時に読んだ少女漫画の影響で、美容師を志した。地元の春日井商業高校を経て、同美容学校で学ぶ。

ワインディング種目は、パーマをかけるために髪の毛にロッドを巻く技術の正確さを競う。井上さんは七月に名古屋市南区であった東海地区大会で上位十二人に入り、全国大会の切符をつかんだ。

昨年の東海大会で上位入賞を逃した悔しさを胸に、ほぼ毎日練習して腕を磨いてきた。念願がかなったことに「周りの人たちも上手だったので自信はなかった。でも、努力してきたことが結果となって出たのでうれしい」と喜ぶ。

同美容学校は二〇一三年四月に開校し、創立三年目。生徒が全国大会に出場するのは初めてで、副校長の加藤暢也さん(三五)は「井上さんはコツコツ努力できる生徒。全国の舞台でも精いっぱい頑張ってほしい」とエールを送る。

井上さんは「周りの人のことは気にせず、自分の実力を出すだけ」と、本番に向けて意気込んでいる。

床や壁に切り絵投影

春日井市民病院　患者らに癒やし

床や壁に投影された切り絵を眺める親子ら＝春日井市鷹来町１の春日井市民病院で

春日井市鷹来町一の市民病院で二十九日、尾張旭市の切り絵作家、酒井敦美さん(四二)による「光の切り絵幻灯展」があった。

病院や障害者施設などに、プロの芸術家を招いて演奏や作品展示をしてもらっている春

小さな発言

春日井市岩成台小２
佐々木　麻衣さん

わたしは、大すきなテニスのことを二つ教えます。

一つ目は、れんしゅうしていることです。ネットをこえてボールをおとすことや、ノーバウンドでうつれんしゅうをしています。二つ目は、ならっている回数です。週三回ならっています。もっとつよくなるために、もっとたくさんれんしゅうしたいです。たのしくがんばりたいです。

後進の育成、布教に光

寂光院・松平住職　真言宗の賞受賞

賞状
松平實胤殿
真言宗各派総大本山会

賞状を手に「身に余る賞」と恐縮する松平住職＝犬山市継鹿尾の寂光院で

「尾張の紅葉寺」といわれる寂光院（犬山市継鹿尾）の住職松平実胤（じついん）さん(六九)が、真言宗で最も権威ある賞の一つとされる「密教教化賞」を受賞した。「分不相応な賞をいただき、ご縁としか言いようがない」と恐縮する。

同賞は真言宗十八本山でつくる真言宗各派総大本山会（各山会）の事業として一九六七（昭和四十二）年に創設され、布教や社会福祉などに功績があった人に贈られる。四十七回目の今年は松平さんら僧侶四人が選ばれた。

松平さんは名古屋市出身。名古屋大大学院を修了し、七三年五月に寂光院の住職になった。智積院（ちしゃくいん）（京都市）にある「智山専修学院」の講師として、三十八年にわたり子弟の育成を続けるほか、全国の市民講座や企業研修などでも講師をしている。

後進の育成と布教への熱心な取り組みが評価され、七月に受賞が決まり、今月十六日には東寺（京都市）で授賞式があった。「若くして住職になり、周囲の皆さんがいろいろと教示してくれたおかげで、ここまでこられた」と感謝する。

（田中富隆[illegible]

妊産婦に思いやりを

春日井でマークを啓発

妊産婦への思いやりを呼び掛ける「マタニティーマーク」の街頭キャンペーンが二十八日夕、春日井市のJR勝川駅であり、市職員らが通勤、通学客にアピールした。

マタニティーマークは、二〇〇六年に厚生労働省が定めた。妊産婦自らが身に着け、公共交通機関などで周囲に配慮を促すことを目的としている。

職員らは啓発品を配りながら、「妊産婦を見かけたら思いやりのある気遣いを」などと呼び掛けた。

啓発品を配って妊産婦への気遣いを呼び掛ける市職員㊨＝春日井市のＪＲ勝川駅で

昨年九月、内閣府が発表した成年男女三千人を対象とした世論調査によると、マタニティーマークの認知度は「言葉だけ」も含め全体で53・6％。四十代、五十代の男性の認知度はさらに低い。

（志沢あ[illegible]ん）

久田さん父子が学生に能楽講座

中部大

中部大人文学部の「秋の能楽講座」が二十八日、春日井市松本町の同大三浦幸平メモリアルホールであり、名古屋市を拠点に活動する観世流能楽師久田勘鷗さん(八六)、勘吉郎さん(三〇)父子が二演目を披露した。

日本の伝統文化に触れる機会をつくろうと、毎年開いている。上演に先立ち、勘吉郎さんが能楽について解説。「能は大道具が使えないので、小道具や行動を見てどんな場面か考えてみて」と話し、泣くときのポーズや能面の種類を紹介した。

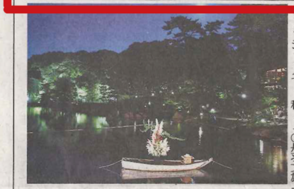
学生らはその後、勘吉郎さんが演じる「殺生石」と勘鷗さんの「船弁慶」を鑑賞。真剣な表情で演技を見つめていた。

学生らに能面を紹介する久田勘吉郎さん＝春日井市松本町の中部大で

中日写協

☆春日井支部10月例会

①松沢敏治「十三夜の観月会で、月と飾り和舟を落ち着いた雰囲気にまとめることができました」＝写真（EOS7D [illegible]F−S18～200ミリ絞り[illegible]・5シャッター1秒ISO400）



②市原淳宏「夕日をあびて」③平沢孝充「赤い稲妻」④小塚鋭安「頬笑む」⑤丹羽文雄「こもれび」⑥沢田昌俊「もう限界だ！」⑦橋本章「もののけの森」⑧杉山道生「ねぐらに帰るムクドリ」⑨安藤恒子「安らぎの景」⑩荻野弘「警戒するカワウ」

今回の作品は11月10日まで、春日井市中央公民館ロビーで展示

愛知県LPガス